

みどりかがやく

春の訪れ

校門に入って左側にウメの木があります。このウメはまわりの木に比べて開花が遅く、去年は3月に入ってからやっと花を付けました。まわりのウメの木は2月末には五分咲きになっていたのですが。

この遅咲きのウメも今年は2月半ばに花を咲かせました。まわりのウメの木は2月に入ってすぐに花を咲かせていましたので、遅咲きであることに変わ

りはありませんが、今年も可憐な花を付けてくれたことを嬉しく思います。そして、心なしか、昨年よりも多くの花を付けているように思います。

ウメは古来から日本人に愛され、学問の神様とされる菅原道真公がこよなくウメの花を愛したことは広く知られているところです。太宰府に流されたとき、一夜で道真公のもとに飛んでいったという「飛梅伝説」もあります。「東風ふかば こちにおひおこせよ梅の花 あるじ主なしとて 春な 忘れそ」の歌は、私が中学生のときの国語の教科書には掲載されており、暗唱した記憶があります。この歌にあるとおり、ウメの花が咲く季節は春であり、ウメは「春告草」の別名もあります。

2月28日（金）には県立高等学校の学力検査があり、一部の学校では3月2日（月）に実技検査や面接があります。県立高等学校を受検した生徒全員が自らの力を全て発揮することができると思っています。今後、入学許可候補者の発表が3月9日（月）にあり、3月13日（金）に卒業式を向かえます。

季節は春。別れの季節でもあります。本校の生徒会スローガンは「西中で 希望の花を咲かせよう」です。花を咲かせる時期は人それぞれ異なりますが、本校を学び舎とする卒業生には、新しい場所でも自らの花を咲かせてほしいと強く願っています。



青空と校舎を背景に咲くウメの花